



BESTCARE

世界の病院たちが選択した
統合型医療ソリューション

医療業務に 効率性と卓越性を

ezCaretech
JAPAN

ezCaretech Japanをご紹介します。

ezCaretechは世界中で使われる病院情報システム(Hospital Information System)を提供する企業を目指して設立され、これまでの24年間、病院情報システムの発展に貢献し続けております。設立以来、「医療ITサービスの革新を通じて人類の健康に貢献する」という経営方針のもと、デジタルヘルスケアソリューションの開発・提供を行っており、日本では**現地法人であるezCaretech Japan**が中心となって各種医療情報システムを展開しています。



ezCaretech Japan は 2023 年 1月1日、神奈川県川崎市の中核病院である**聖マリアンナ医科大学病院**に **BESTCare2.0J** を導入しました。BESTCare2.0J を通じて、聖マリアンナ医科大学病院では以下のような医療 DX が実現・推進中です。



患者安全の強化

医療事故防止に繋がる複数の機能を導入し、患者安全を確保及び医療の質を向上

- CDSS
(Clinical Decision supporting system)
- CLMA
(Closed-Loop Medication Administration)
- CP
(clinical path)

データに基盤した意思決定

臨床・運用データのモニタリングと分析に基づく課題発見と解決

- データ収集、分析システム
- 運用管理モニタリング
- 臨床指標モニタリング

スマートソリューションによる業務効率・高度化

スマートソリューションを幅広く導入し、多様な現場実務のプロセス効率を向上

- BESTBoard
- 電子同意書
- CLMA
(Closed Loop Medication Administration)
- BI/CI
(Business/Clinical Indicator)
- 研究検索
- RRS
(Rapid Response System)
- CVR
(Critical Value Report)
- ezARIA
(院内チャットシステム)

グローバル標準の適用

グローバル医療への拡張に向けた国内外標準規格を適用している BESTCare2.0J

- HIMSS Stage 7 認証済み
(韓国、サウジアラビア)
- HIS 技術・運用に関するグローバル標準を適用・認証済み
(ONC, IHE, ISO 及び HIPAA 認証済み)

BESTCare2.0J の機能範囲

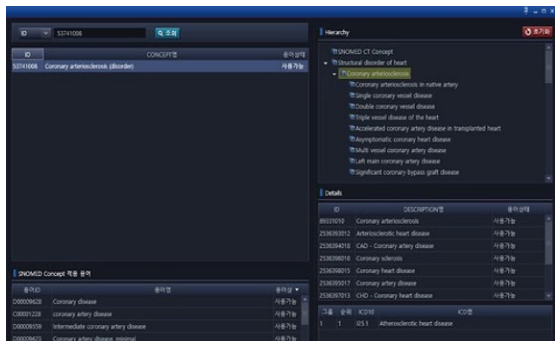
BESTCare2.0Jは電子カルテシステムではありません。電子カルテ機能に加え、
病院内外のすべての情報とシステムを統合した病院情報システムです。
私たちezCaretech Japanは、同じ理念・目的のもとで開発・統合された
オールインワンシステムを目指しています。

医療現場のワークフローを
最適な形で支援するためのシステム設計
ユーザの業務効率性と診察の継続性を強化する機能構成



Terminology

国内外の標準コードに基づき、
各種用語／コードを
柔軟に管理

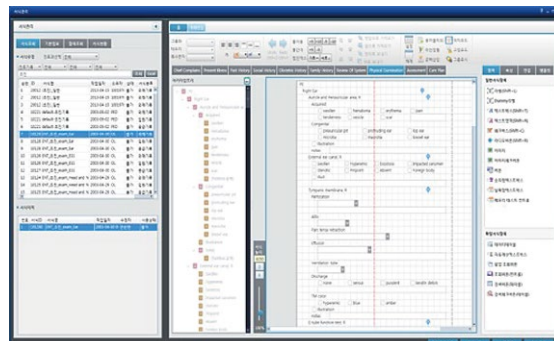


- ◎診断／手術：ICD-10、ICD-9、UMLS、SNOMED-CT
- ◎看護診断：ICNP、NANDA
- ◎薬物：ATC、YJ Code

国際標準に準じて設計された病院情報システムと付随する医療サービスにより、データサイエンスの時代に備えます。

Documentation

散在する書式をテンプレート化し、
中央管理が可能な、
標準書式コンテンツを構成

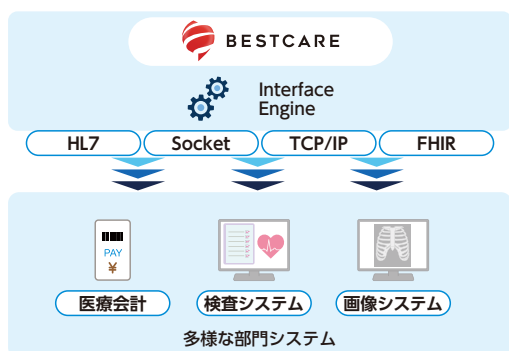


- ◎共通、科毎、診断書毎の書式を中央で統合管理
- ◎医療制度に準ずるカルテ・文書の生成、必須入力項目の制御
- ◎簡便な臨床指標管理項目、研究活用対象データの構成・設定

書式テンプレートをユーザ自ら生成、変更することで制度や業務プロセスの変化に柔軟に対応できます。

BESTCare2.0J 4つの特徴

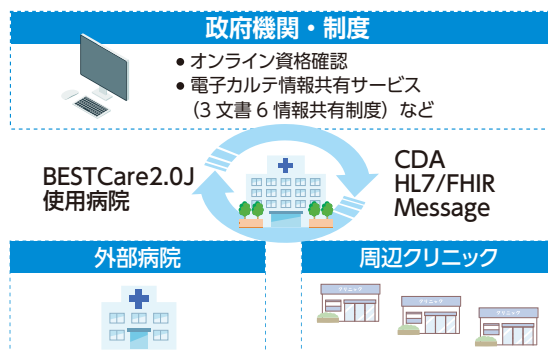
国内外の多様な
機器、ソリューションと
標準的なインターフェース
を構築



- ◎ HL7 (FHIRを含む) 標準方式で医療機器とインターフェース
- ◎ DICOM標準で様々なPACSと映像データをインターフェース
- ◎ 政府機関など、院外に情報を提供するための連携方式及びガイド遵守

これまでの多様なインターフェース構築実績からHL7 (FHIRを含む)、DICOM、API、DB to DBなど複数の技術を適用できます。

医療情報と
インターフェースの
標準規格に沿って
機関同士の相互運用性を確保



- ◎ CDA¹⁾ベースの診療サマリー(CRS²⁾)を利用してIHE³⁾を実施済み
- ◎ 医療情報共有の国際標準規格(HL7、FHIR⁴⁾) に準じたインターフェース構築の実績あり

国際標準規格を通じた医療機関同士の情報交換を構築し、地域医療連携を強化します。

System Interface

Interoperability

1) 医療文書標準構造(Clinical Document Architecture) 2) 診療記録要約用紙(Care Record Summary)

3) Integrating the Healthcare Enterprise: 医療情報システムの相互接続性を推進する国際プロジェクト 4) Fast Healthcare Interoperability Resources: 医療情報交換フレームワーク

スマートソリューション

CLMA

患者とオーダの整合性を電子的に照合して投薬、輸血、食事のエラーを防ぐシステム



電子同意書

電子化した同意書をモバイルタブレットで操作、運用するシステム



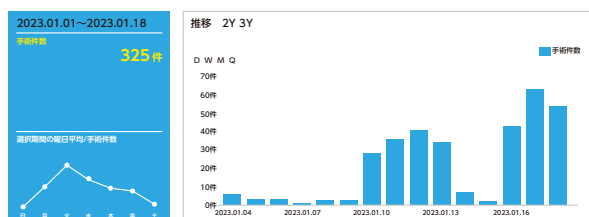
BESTBoard

既存のホワイトボードに代わり、HISと連携し、患者情報をリアルタイムで共有するダッシュボードシステム



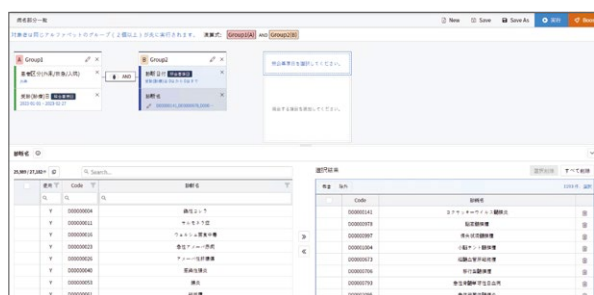
臨床・経営指標システム

病院の臨床、治療の質及び経営の指標を電子化した指標管理システム



研究検索システム

HIS内の臨床、医療データをユーザが検索し、研究コホートを抽出するシステム



ezARIA

HISと連動する院内業務用チャットシステム



BESTCare2.0



HIMSS Stage 7



ONC-HIT



reddot design award
winner 2017

Reddot Design Award



JCI Accreditation



ISO 27799, 27001



IF Comm. Design Award



HIPPA Compliance

ezCaretech Japan 株式会社

〒225-0002

神奈川県横浜市青葉区美しが丘 5 丁目 35 番地 2

<https://www.ezcaretech.co.jp/>



■お問い合わせ

当社および、当社ソリューションについてのご質問等は、
以下のメールアドレスより受け付けております。

info@ezcaretech.co.jp

営業時間内での対応となりますのでご了承ください。

【営業時間】 平日 9:00 ~ 18:00